

各項目時間は学科4 h、実技基本3.5 h + 1 h、限定変更目視内1 h + 1 h、限定変更昼間1 h + 1 h

1 無人航空機操縦者の心得 2 無人航空機に関する規則	一 航空法全般 二 航空法以外の法令等 イ 小型無人機等飛行禁止法 ロ 電波法 ハ その他の法令等 ニ 飛行自粛要請空域	30分
3 無人航空機のシステム	一 無人航空機の機体の特徴(種類及び飛行方法) 二 飛行原理と飛行性能 三 機体の構成 四 機体以外の要素技術 五 機体の整備、点検、保管、交換、破棄	2時間
4 無人航空機の操縦者及び運航体制	一 操縦者の行動規範及び厳守事項 二 操縦者に求められる操縦知識 三 操縦者のパフォーマンス 四 安全な運航のための意思決定体制 (CRM (Crew ResourceManagement) 等の理解)	1 時間
5 運航上のリスク管理	一 運航リスクの評価及び最適な運航計画の立案の基礎 二 気象の基礎知識、気象情報を基にしたリスク評価及び運航計画の立案 三 機体の種類に応じた運航リスクの評価及び最適な運航計画の立案 四 飛行の方法に応じた運航リスクの評価及び最適な運航計画の立案	30分
基本(限定変更なし)	1. 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3. 機体の状況、操縦モードバッテリーの確認	30分
	5. 基本操縦 (手動)	1時間
	4. フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 8. 様々な運航形態への対応	1 時間30分
	9. 安全に関わる操作 10. 緊急時の対応 11. 飛行後の記録、報告	30分
目視内限定変更	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 5 基本操縦(手動) 6 基本操縦(自動) 7 基本操作以外の操作 8 様々な運航形態への対応 10 緊急時の対応	1時間
昼間限定変更	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 5 基本操縦(手動) 8 様々な運航形態への対応 10 緊急時の対応	1時間

Japan Drone College

講習時間割表

二等無人航空機操縦士(経験者) 1日目

時限	時間	科目
1	8:00~8:30	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認
2	8:30~9:30	5 基本操縦(手動)
3	9:40~11:10	4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 8 様々な運航形態への対応
4	11:20~11:50	9 安全に関わる操作 10 緊急時の対応 11 飛行後の記録
	11:50~12:30	昼休憩
5	12:30~13:30	修了審査
6	13:30~14:30	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 5 基本操縦(手動) 6 基本操縦(自動) 7 基本操作以外の操作 8 様々な運航形態への対応 10 緊急時の対応 目視内限定変更
7	14:30~15:00	修了審査
8	15:10~16:10	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 5 基本操縦(手動) 8 様々な運航形態への対応 10 緊急時の対応 昼間飛行限定変更
9	16:10~16:40	修了審査

※座学はeラーニング(4時間)にて学習お願いいたします。

- 1 無人航空機操縦者の心構え
- 2 無人航空機に関する規則
- 3 無人航空機のシステム
- 4 無人航空機の操縦者及び運航体制
- 5 運航上のリスク管理

(※修了テスト含む)

※受講生の技量、習熟に応じて操縦訓練を延長することがあります。

【修了審査】

- ・机上試験
- ・口述試験(飛行前点検)
- ・口述試験(飛行後の点検及び記録)
- ・口述試験(事故、重大インシデントの報告及びその対応)
- ・実技試験